

質問事項		選択式回答	記述式回答
経済動向			
1	<p>'2015年1月中旬から下旬にかけての経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(2014年10月中旬から下旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。</p>	良くなっている	<p>全国中小企業団体中央会が行っている「中小企業月次景況調査」(平成26年12月末 平成27年1月20日発表)によると、売上高DIを含め9指標中8指標が上昇した。原油価格の下落が続いていることから、円安の影響を相殺し運輸業等一部の業種で好影響が見られる。この傾向は1月も継続していると思われる。しかしながら、原油以外の原材料費や電力料金、人件費等の上昇は、多くの中小企業にとってコスト増の要因になっている。また、消費も一部を除き上昇しているとは言えず、経営環境は依然厳しい状況にある。前年度と比べ景況・売上高等主要DIはマイナスとなっており、消費税増税の影響を完全に脱しきれていない。先行を慎重に見極める必要がある。</p>
デフレ脱却・経済の好循環の継続に向けた取組			
2-1	<p>「経済財政諮問会議における今後の課題について」(平成26年12月27日経済財政諮問会議 甘利経済財政政策担当大臣提出資料)をご覧ください、特に強化・加速すべきとお考えになる取組について具体的なご意見がございましたら500字以内でご記入ください。</p>	-	<p>①店舗集積と育児・介護等福祉関係施設の併設・集約化 ②買い物とデリバリーの融合化、複合化(高齢者や育児者への化粧品のお届けとサンプル商品を使ったエステ等の融合サービスへのニーズ対応) ③地域産品の流通ロットに乗せるため(少量のため地方の小売店に届けてもらえない)の共同化・連携化 ④公的施設のロビー化を促し、そこでのふるさと名物の地域の魅力を広報 ⑤山林所有者と山林資源の結集による新たな販売事業化 ⑥世界一の衛生的な設備で世界一おいしい食材を提供する水産加工団地の造成とその観光化 ⑦カット野菜や総菜の集約生産化による収益率の向上 ⑧中小企業の価格交渉力を強化する共同経済事業の推進 ⑨農業生産法人に対する支援・コンサルの門戸開放(農協以外の中小企業支援機関等支援機関の多様化・高度化) ⑩国際競争に打ち勝つ物流施設、特に、港湾のハブ化に向けた環境整備</p>
2-2	<p>質問2-1でご提案いただいた取組について、その背景となる具体的な事例やモデルがあればご紹介ください。</p>	-	<p>⑦については、浜松市内の食品加工業者で組織された団地組合が、野菜のカット工程の施設を集約化している。</p>